

平成 17 年度ホタテガイ採苗情報（第 1 報）

平成 17 年 4 月 27 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「大型のラーバは、全く確認されていません。」

1 ホタテガイ生殖腺指数の推移

1 月下旬から山田湾と唐丹湾で生殖腺調査を開始しました。

山田湾では、生殖腺指数の平均値が、3 月 28 日に 19% と最高値を示した後、4 月 25 日に 11% と低下しており、産卵が進んでいるものと考えられます。

同様に唐丹湾では、3 月 16 日に 20% と最高値を示した後、4 月 26 日に 14% と低下しており、産卵が進んでいるものと考えられます。

$$\text{生殖腺指数} = \text{生殖腺重量} / \text{軟体部重量} \times 100$$

2 ラーバの出現状況

4 月 25 日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバは、36 個 / トン確認されました。そのほとんどが 200 μm 以下のラーバで、付着間近の大型の個体は全く確認されませんでした。

なお、調査時の水深 10m 層の水温は 8.1 で、平成 9 ~ 16 年の平均値とほぼ同じ値となっています。

3 試験採苗器による付着稚貝調査

宮古漁協と広田湾漁協が実施した調査では、宮古の日出島と白浜漁場で各 1 個 / 袋の稚貝が確認されています。

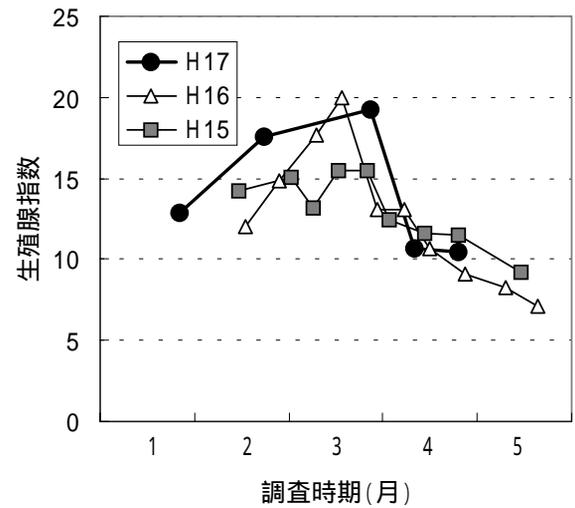


図 生殖腺指数の推移(山田湾)

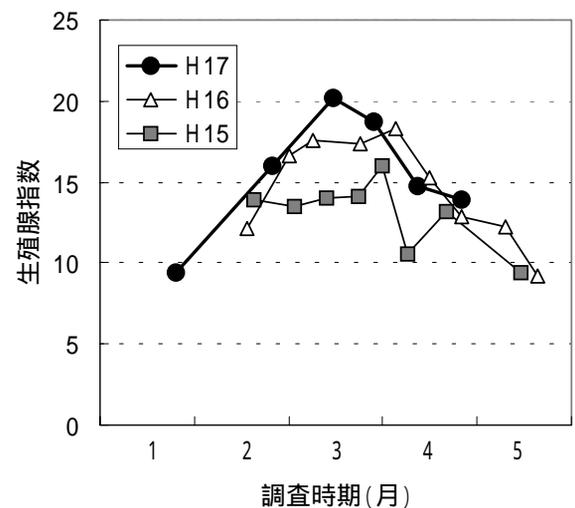


図 生殖腺指数の推移(唐丹湾)



図 調査点と付着稚貝調査結果

なお、当センターでは、4 月 25 日に唐丹湾に試験採苗器を投入しました。

今後、毎週試験採苗器を投入し、稚貝の付着状況を観察する予定です。

産卵が進み、ラーバが出現しています。

しかし、付着間近の大型ラーバは全く確認されていません。また、水温も低く、付着に適した条件ではないことから、県中南部以南では、まだ、採苗器の投入適期ではありません。

次報は、5 月 6 日頃発行する予定です。